

主な出来事

【内政】

- ルアンダ州封鎖の期限が7月10日まで延長された(当館注:7月に入り8月9日まで延長)。
- 6月30日から再開予定であったルアンダ発着の国際定期商用便が無期限停止となった。
- 6月23日、外国人が所有するアンゴラの査証や身分証明書は期限が過ぎても8月31日までは有効とする措置が決定された。
- 6月23日、行政サービスの重複を防ぐため行政機関を合計144機関から102機関まで縮小することが決定された。

【外交】

- ロウレンソ大統領は、仏(6月1日)、カタル(6月13日)、加(6月16日)首脳と電話会談を実施した。
- 6月2日、財務省はG20による債務返済猶予イニシアティブ(DSSI)への参加を表明した。
- 6月3日、中国外交部は関係当局がアンゴラ政府と債務繰延に関する交渉を進めている旨を発表した。
- 6月19日、京都議定書のドーハ改正案の批准に関する決議案が国会で承認された。

【経済】

- Moody'sは、アンゴラの2020年対GDP比債務残高を110%、財政赤字を5%と予測した。
- IMFは、2020年の実質GDP成長率を-1.4%から-4.0%に下方修正した。
- 5月の石油輸出額は4月と比べて約48%減少した。
- IMFによれば、2019年のGDP(米ドル換算)でケニアがアンゴラを追い抜きサブサハラ3位の経済大国となった。

内政

や身分証明書は期限が過ぎても8月31日までは有効とする措置が決定された([NJ 6/25](#))。

1. COVID-19 関連措置

- (1) ルアンダ州封鎖の期限が6月24日まで延長された([JA 6/10](#))。
- (2) ルアンダ州封鎖の期限が7月10日まで延長された(当館注:7月に入り8月9日まで延長)([AP 6/26](#))。
- (3) 6月30日から再開予定であったルアンダ発着の国際定期商用便が無期限停止となった([AP 6/27](#))。
- (4) 6月23日、外国人が所有するアンゴラの査証

2. COVID-19 感染状況

- (1) 6月30日時点における国内の累計感染者数は284名(内、累計死亡者数13名、累計治癒者数93名)([AP 6/30](#))。
- (2) 6月16日、クワンザ・ノルテ州でアンゴラ人1名及び西アフリカ諸国出身者2名の陽性が発覚した。ルアンダ州以外で最初の感染確認となった([AP 6/17](#))。

(3) 6月9日、コンゴ（共）との国境であるカビンダ州マサビ地区の封鎖が解除された[\(JA 6/10\)](#)。

(4) 6月20日、ルアンダ州カゼンガ市オジャエンダ地区およびMultiperfil病院の封鎖が解除された[\(AP 6/20\)](#)。

3. 医療環境の整備

(1) 6月2日、ルアンダ州ヴィアナ市に陽性者専用のCampanha病院（1,000床）が開設した。3日、ロウレンソ大統領は同病院を訪問し、同様の病院がカビンダ州カビンダ市とルンダ・ノルテ州ドゥンド市にも開設される予定だと述べた[\(AP 6/3\)](#)。

(2) ジラソル病院は新型コロナウイルス感染者治療センター（91床）をヴィアナ市に開設した[\(LS 6/6\)](#)。

(3) 6月25日、国立保健研究所を通じてCOVID-19の抗体検査を進めることが発表された[\(AP 6/25\)](#)。

(4) 6月25日までにアンゴラ政府は中国から合計約405トンのバイオセーフティ物資を受け取った。人工呼吸器約600台、ベッド約4,000台等が含まれていた[\(AP 6/25\)](#)。

4. 在外アンゴラ人の退避

6月23日までにジンバブエおよびザンビアに在住のアンゴラ人の退避フライトが運航された。さらに、南アフリカ、トルコ、ポルトガルからも退避フライトが予定されている[\(VE 6/23\)](#)。

5. 過剰な取り締まりによる警官逮捕

緊急事態宣言下における過剰な取り締まりが市民の死につながったとして約10名の警官が逮捕された[\(AP 6/10\)](#)。

6. 公共用地収用法案の承認

6月3日、公共利用のための土地収用に関する法案が国会で承認された。本法案は、公共利益が見込まれる場合に限り、（緊急時を除き）土地所有者への補償をした上で行政機関による土地収用を可能にするものである[\(NJ 6/3\)](#)。

7. コミュニティ活動の刑罰化

6月11日、軽罪とみなされた場合、懲役や罰金以外にコミュニティ活動を刑罰として科すことを可能にする刑事訴訟法案が国会で承認された。最終的な判断は裁判官に委ねられる[\(NJ 6/12\)](#)。

8. 行政機関の縮小

6月23日、行政サービスの重複を防ぐため、行政機関を合計144機関から102機関まで縮小することが決定された。これにより、役職が約250名分減少する見込みである[\(OP 6/23\)](#)。

9. 犯罪歴証明書

6月23日、行政サービスを効率化するため、行政機関への犯罪歴証明書の提出を免除することが決定した[\(VE 6/25\)](#)。

10. 国家開発計画(PDN)2018-2022の修正

6月26日、経済企画省は2020年の歳入が減少する見込みであることから、国家開発計画2018-2022関連事業を84から69まで削減すると発表した[\(AP 6/27\)](#)。

11. 税制改革案の議決

6月17日、数か月に渡り議論されていた所得税、固定資産税、自動車税の改正案が国会で議決された[\(AP 6/18\)](#)。

12. 修正予算案における歳入見込の削減

6月26日、2020年修正予算案が閣議で議論された。歳入合計額は以前の約15.8兆クワンザから約2.3兆クワンザ減少し、約13.5兆クワンザに修正される見込みである[\(AP 6/26\)](#)。

外交

1. 他国政府・国際機関等によるCOVID-19支援

(1) EUは、アンゴラ政府によるCOVID-19対策支援、及び、南部でEUが実施している開発事業のた

めに合計 1,000 万ユーロの拠出を表明した[\(AP 6/3\)](#)。

(2) 6 月 10 日の「ポルトガルの日」に際しポルトガル政府はアンゴラ政府に医療物資を提供した[\(JA 6/10\)](#)。

(3) UNHCR はルンダ・ノルテ州のロブア難民キャンプ近くのコミュニティに対し約 2,500 枚のマスクや約 1,000 名分の食品等を配給した[\(AP 6/22\)](#)。

(4) 6 月 26 日、駐ポルトガル／アンゴラ大使は新リスボン大学衛生・熱帯医学研究所等のイニシアティブによる医療物資を受け取った。ウイラ州ルバンゴ市に位置する Mandume Ya Ndemufayo 大学に対する PCR 検査器具に加え、人工呼吸器 2 台、マスク 1 万 2,000 枚、手袋 1 万双が含まれていた[\(AP 6/28\)](#)。

(5) UNDP は生物多様性の保全を目的とする地球環境ファシリティ (GEF) による資金供与合計約 72 万米ドルに COVID-19 関連支援を含めることを決定した。主に南部の干ばつ地域を対象に、オチバンボ語やニャネカ・ウンベ語で気候変動や COVID-19 対策に関するラジオ放送を実施する予定である[\(AP 6/17\)](#)。

2. UNICEF による栄養失調対策支援

UNICEF は、南部干ばつ地域のクアンド・クバンゴ州、クネネ州、ウイラ州、ナミベ州において合計 9,600 箱の栄養補助サプリメントを配給した[\(AP 6/29\)](#)。

3. エボラ対策としてコンゴ(民)との国境取締強化

コンゴ(民)エクアドル州におけるエボラウイルスの発生を受け、アンゴラ／ルンダ・ノルテ州政府は国境の取締対策を強化した。ルンダ・ノルテ州とコンゴ(民)の国境線は約 770km におよぶ[\(AP 6/4\)](#)。

4. 中部アフリカ諸国経済共同体閣僚理事会の開催

6 月 3 日から 4 日まで、中部アフリカ諸国経済共同体 (ECCAS) の閣僚理事会がテレビ会議で開催され、アンゴラが議長国候補として承認された[\(AP 6/5\)](#)。

5. G20 債務返済猶予イニシアティブへの参加表明

6 月 2 日、財務省は G20 による債務返済猶予イニシアティブ (DSSI) への参加を表明した。財政難を軽減

し、新型コロナウイルス対策により多くの資金を割り当てる狙いがある[\(LS 6/2\)](#)。

6. 対中債務繰延関連

(1) 6 月 3 日、中国外交部は関係当局がアンゴラ政府と債務繰延に関する交渉を進めている旨を発表した。また、趙立堅／中国外交部報道官は、定例会見において他の債権国も同様にアフリカ諸国を支援することを望むと述べた[\(RE 6/3\)](#)。

(2) ロイター紙が独自に入手した情報によれば、アンゴラ政府は対中債務の返済条件交渉を目的に中国への原油輸出量を削減した。アンゴラは、中国企業 Sinochem に毎月 7～8 カーゴ、Sinopec 傘下の Unipet に毎月 2～3 カーゴを納入しているが、7 月分は Sinochem が 5 カーゴ、Unipet に至っては納入無しとなり中国への輸出量が大幅に減少した[\(RE 6/5\)](#)。

(3) 対中債務返済の条件交渉に際し、アンゴラ政府は繰延期間を 5 年間で希望しているが、中国政府は 3 年間で提示している。政策銀行に対する合計約 170 億米ドルの債務も含まれる見込みである[\(EX 6/19\)](#)。

(4) 6 月 24 日、駐アンゴラ中国大使はジョセフィーナ・ディアキテ国会外交委員長と会談し、COVID-19 の影響や対中債務繰延延べに関する意見交換を行った[\(AP 6/24\)](#)。

7. アンゴラ大使による中国からの投資呼び掛け

6 月 9 日、駐中国アンゴラ大使は中国 CEC テレビ局のインタビューに応じ、アンゴラには「膨大な資源」があると強調した上で特に農業、漁業、工業、観光、石油セクターへの投資を呼び掛けた。また、「一帯一路」に関し、陸路や海路を通して南部アフリカを結び付けることで SADC 加盟国の発展に資する非常に有益なイニシアティブだと評価した[\(JA 6/10\)](#)。

8. アンゴラ・フランス首脳会談

6 月 1 日、ロウレンソ大統領はエマニュエル・マクロン大統領と電話会談を実施した。ロウレンソ大統領は、債務返済猶予イニシアティブ (DSSI) に加わる希望を示した。また、中央アフリカ共和国の選挙

や 2020 年 5 月に再熟したザンビアとコンゴ（民）の国境問題等について意見交換した[\(NJ 6/1\)](#)。

9. アンゴラ・カタール首脳会談

ロウレンソ大統領は、シェイク・タミーム・ビン・ハマド・アール・サーニ／カタール国首長と電話協議を実施した。COVID-19 の経済への影響や二国間関係に関する意見交換が行われた[\(AP 6/14\)](#)。

10. アンゴラ・カナダ首脳会談

6 月 16 日、ロウレンソ大統領はジャスティン・トルドー加首相と電話会談を実施した。COVID-19 や二国間関係に関する意見交換が行われた[\(AP 6/16\)](#)。

11. アンゴラ・エジプト関係

6 月 14 日、駐エジプト／アンゴラ大使はハムディ・ローザ／エジプト副外相を表敬した。その際、同副外相は、エジプトが繊維、鉱山、金採掘、薬剤、バイオセーフティー等の分野においてアンゴラとの協力強化を望む意向を示した[\(AP 6/15\)](#)。

12. アンゴラ・ベトナム関係

6 月 17 日、駐ベトナム／アンゴラ大使はベトナム商工副大臣を表敬した。同副大臣は、ベトナムがアンゴラの COVID-19 対策を支援し、二国間の経済関係を強化する意向を示した[\(AP 6/17\)](#)。

13. アラブ首長国連邦との税務関連条約の批准

アンゴラおよびアラブ首長国連邦（UAE）は、両国の貿易活動において二重課税や脱税を防止するための税務関連条約を批准した[\(JA 6/16\)](#)。

14. 人権の促進・擁護を国際社会に表明

（1）6 月 5 日、国連アンゴラ政府駐在代表は、ビデオ会議による国連人権高等弁務官事務所の年次報告（2019 年）の際にアンゴラが国際人権規約を遵守することを強調した[\(AP 6/5\)](#)。

（2）6 月 25 日、フランシスコ・ケイロス法務・人権大臣は駐アンゴラ米国大使と協議を行い、人権分野における協力強化に関し意見交換した[\(AP 6/25\)](#)。

（3）6 月 25 日、ルアンダ州に拠点を置く 6 つの高等教育機関が人権教育をカリキュラムに組み込むことを決定した[\(AP 6/25\)](#)。

15. UNDP と起業促進に関する MOU を締結

6 月 8 日、高等教育・科学技術・イノベーション省は科学技術を基盤とした起業を促進するメカニズム形成のため、UNDP と MOU を締結した[\(AP 6/9\)](#)。

16. 京都議定書ドーハ改正案の批准

6 月 19 日、国会は京都議定書のドーハ改正案の批准に関する決議案を承認した。これにより、アンゴラは温暖化対策のための資金供与・技術援助を受けることが可能になる[\(JA 6/20\)](#)。

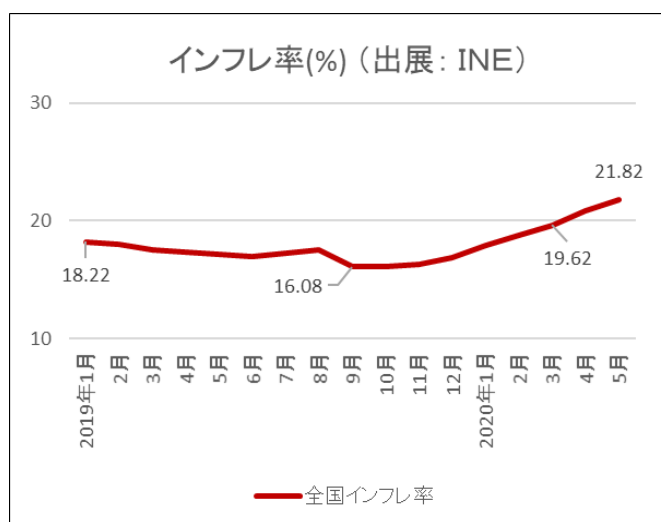
経済

1. 主要経済指標

（1）物価

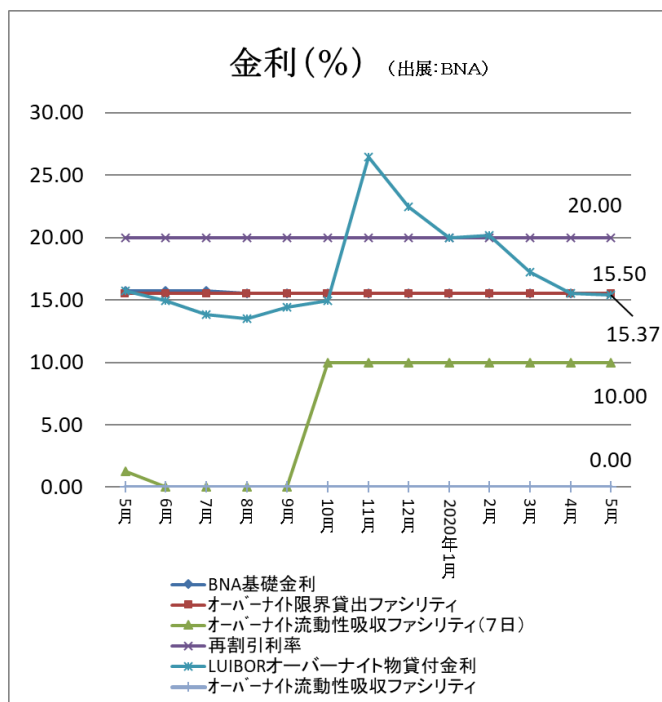
国家統計院（INE）が発表したアンゴラ全国版の 5 月期年間インフレ率は、21.82%。月間物価上昇率は 1.94%。

最も物価上昇に影響を与えたのは、食料品・非アルコール飲料（1.22%）、衣類（0.12%）、家具、家財、メンテナンス（0.11%）、モノ・サービス（0.13%）。



(2) 金利

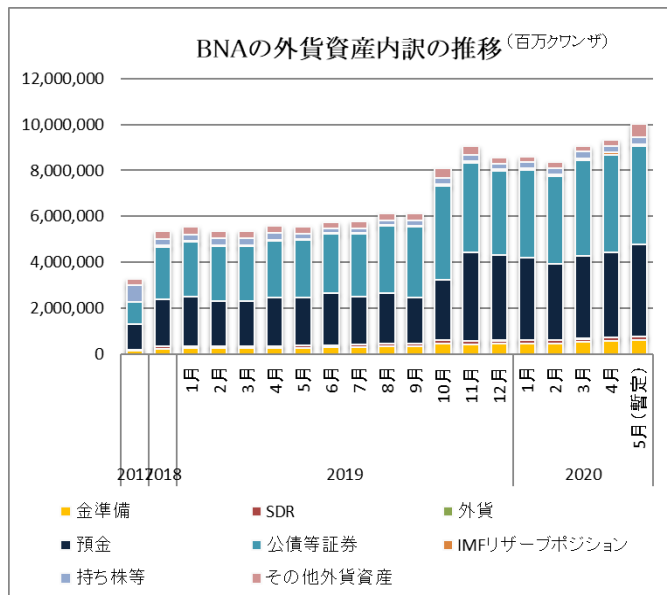
金融政策委員会（CPM）は開催されず。



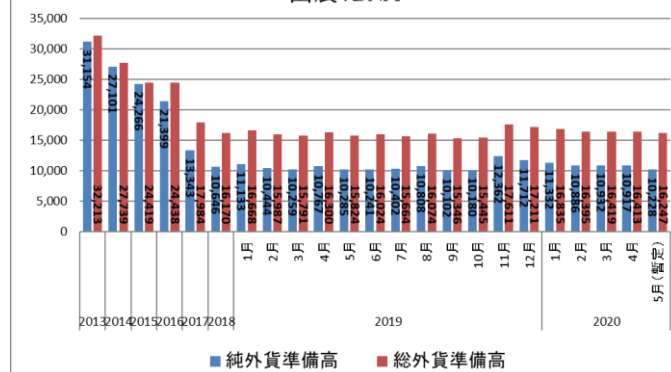
(3) 為替市場

6月30日、為替相場は1USD=579.34288 AKZで推移。

(4) BNA 発表の外貨準備高統計

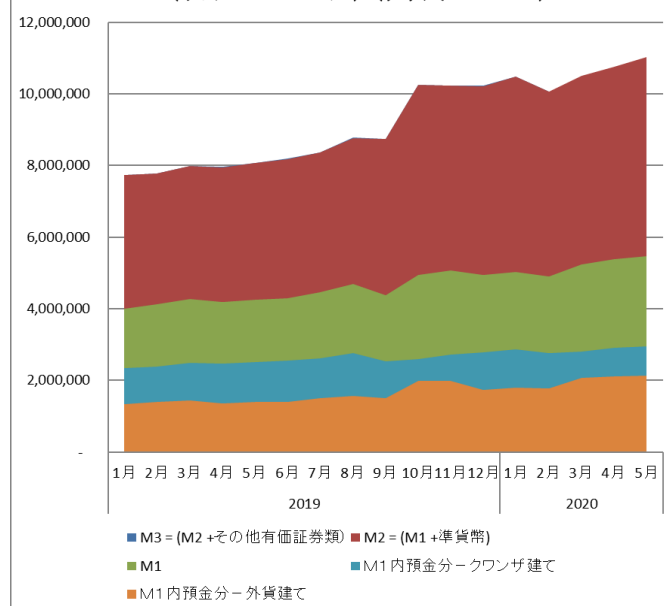


外貨準備高の推移(百万米ドル)
出展:BNA



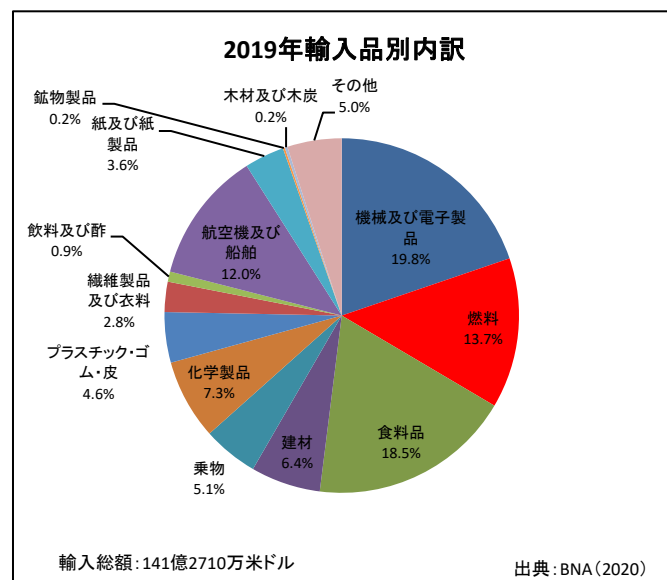
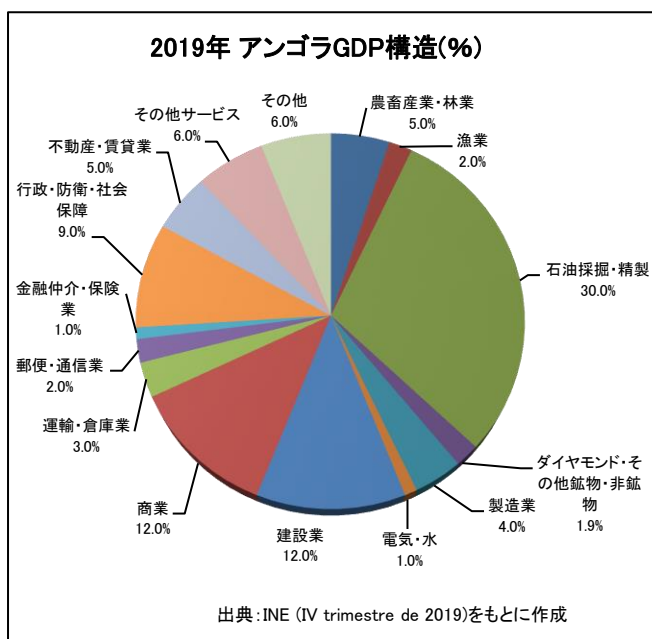
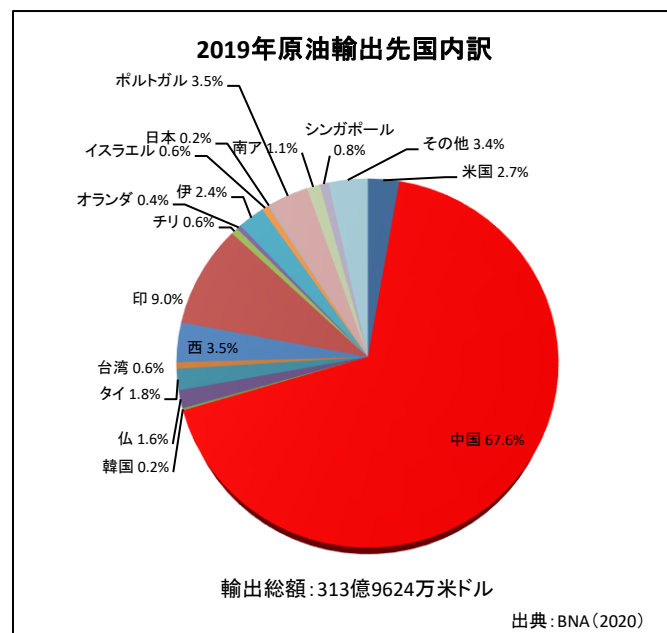
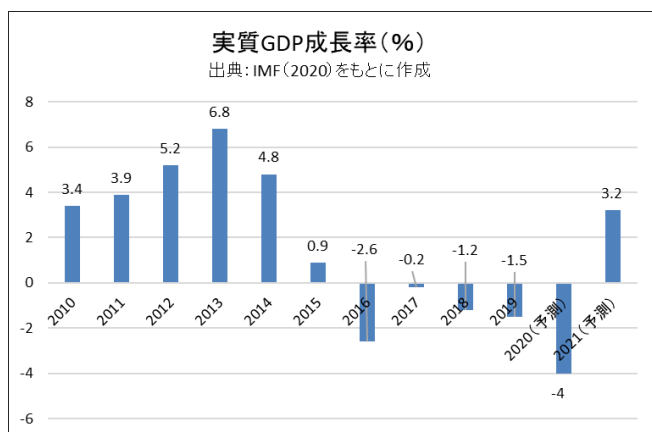
(5) マネーサプライ統計

マネーサプライ統計
(百万クワンザ) (出展:BNA)

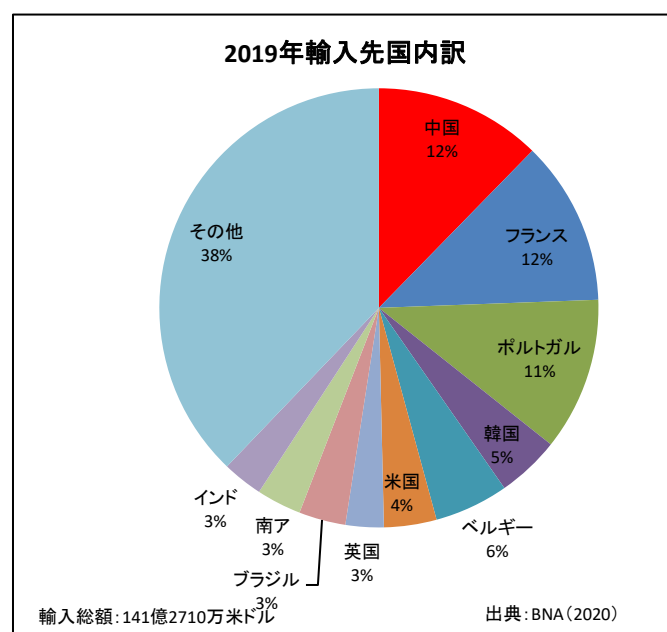
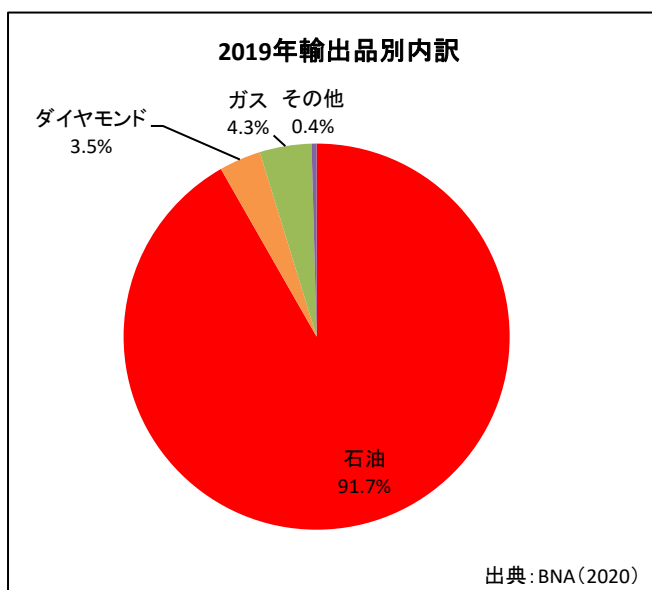


2020年(暫定)			百万クワンザ
3月	4月	5月	
10,507,429	10,767,322	11,037,132	M3 = (M2 + その他有価証券類)
10,502,484	10,762,311	11,032,053	M2 = (M1 + 準貨幣)
5,232,325	5,392,661	5,467,777	M1
369,587	380,974	387,086	M1内現金等流通分
4,862,737	5,011,687	5,080,691	M1内預金分
2,802,170	2,908,690	2,942,957	M1内預金分-クワンザ建て
2,060,568	2,102,997	2,137,734	M1内預金分-外貨建て

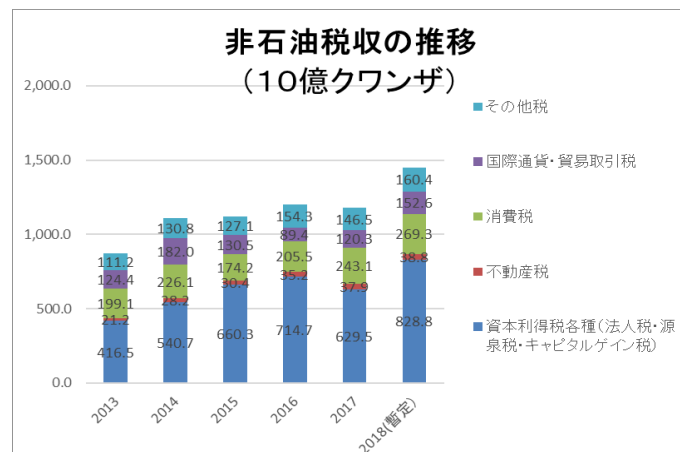
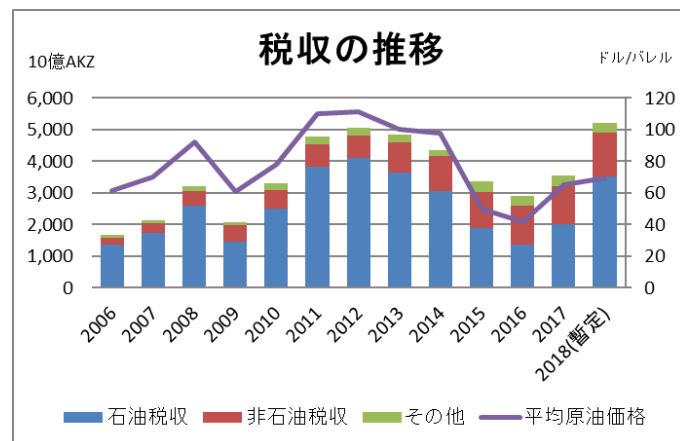
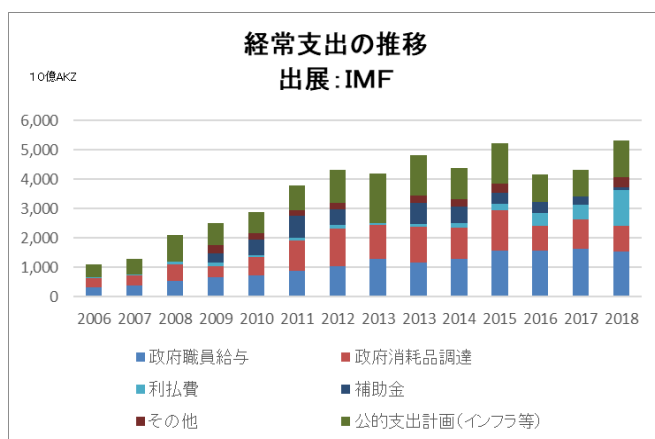
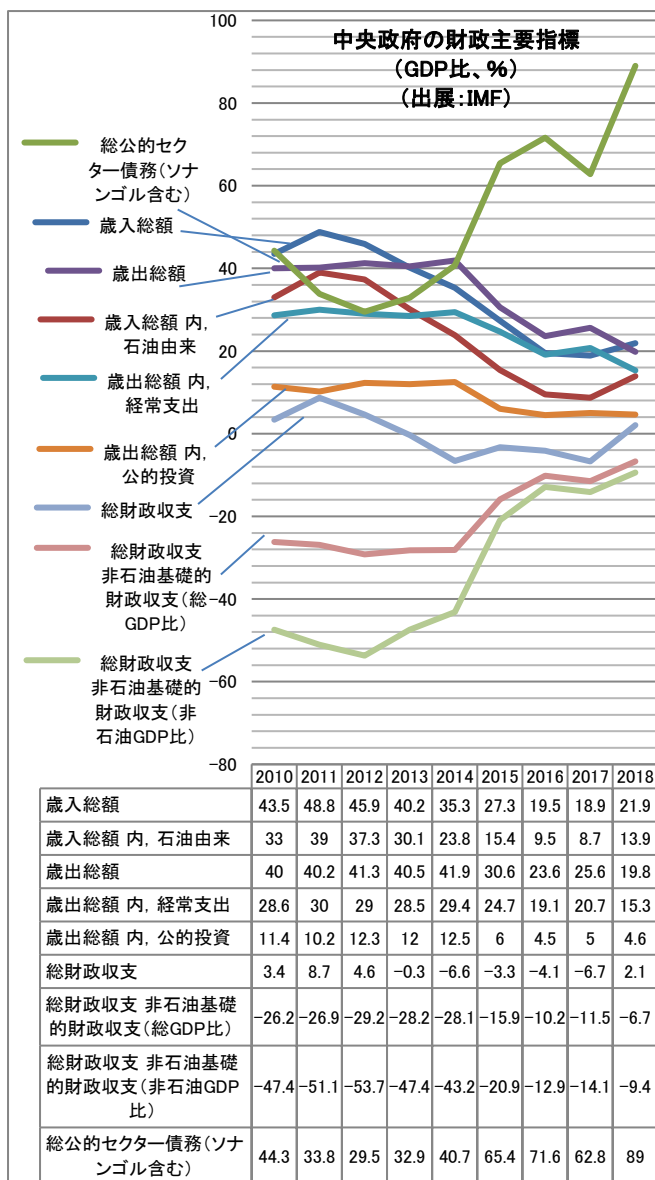
(6) GDP及び成長率



(7) 主要貿易統計



(8) 財政主要統計



2. 大幅な景気後退、財政悪化予測

(1) スタンダード・バンクは、アンゴラのマイナス成長が 2023 年まで続く可能性があると指摘した。また、2020 年及び 2021 年の実質 GDP 成長率をそれぞれ-4.8%、-3.1%と予測している(JN 5/31)。

(2) IMF は、6 月の Regional Economic Outlook for Sub-Saharan Africa において 2020 年の実質 GDP 成長率を-1.4%から-4.0%に下方修正した(JA 6/30)。

(3) 6 月 13 日、Moody's は、油価下落の影響によりアンゴラの 2020 年対 GDP 比債務残高は 110%、対 GDP 比財政赤字は 5%まで悪化すると予測した(ME 6/14)。

3. 石油関連

(1) 5 月の石油輸出額は合計約 2,253 億クワンザであり、4 月の合計約 4,325 億クワンザと比べて約 48%減少した(RE 6/11)。

(2) ソナングルは、COVID-19 の影響によりイラク北部における原油生産を 4 か月に渡って停止してい

る[\(EX 6/22\)](#)。

4. ダイヤモンド関連

(1) 鉱物資源・石油・ガス省は、ダイヤモンド販売公社(Sodiam)の傘下でダイヤモンド取引を総括するアンゴラ・ダイヤモンド・ハブを設立する予定だと発表した[\(MR 6/9\)](#)。

(2) 鉱物資源・石油・ガス省は、今後のダイヤモンドセクターの課題として国内研磨率を生産量の20%まで引き上げる旨を発表した。現時点のアンゴラの国内研磨率は生産量の2%程度に留まっている[\(VA 6/19\)](#)。

5. フィッチ・レーティングスによる格付引き戻し

6月14日、フィッチ・レーティングスは、3月にBからB-に引き下げた信用格付をBに引き戻した[\(VA 6/15\)](#)。

6. ケニアがGDPでアンゴラを逆転

IMFによれば、ケニアは2019年の米ドル換算GDPにおいてアンゴラを追い抜き、サブサハラ3位の経済国となった。2019年を通してクワンザ安が進行したのに対しシリング為替相場が安定していたことが背景にある[\(BB 6/5\)](#)。

7. 国内生産拡大のための融資制度の拡充

(1) 2020年3月、国内生産拡大のために商業銀行24行が生産・輸出多様化・輸出代替支援プログラム(PRODESI)に融資する義務が課された。その内、BAI、BFA、BE、SBA、BCGAの5行が全体の約67%(合計約2億1,650万米ドル)を拠出する予定である[\(JA 6/23\)](#)。

(2) アフリカ開発銀行(AfDB)はウイラ州マタラ市の農業組合に対し5,000万クワンザを融資することを決定した[\(AP 6/23\)](#)。

(3) アンゴラ開発銀行(BDA)は、政府による経済救済計画のもと、融資先440社を選定した。合計176億クワンザを拠出する[\(ME 6/16\)](#)。

8. 政府保有株式の売却

(1) 5月29日付大統領令(76/20)により、ソナングルおよびダイヤモンド公社が保有するBAIの株式(それぞれ8.5%、1.5%)を売却することが決定した[\(AN 6/2\)](#)。

(2) 6月15日付大統領令(87/20)により、ソナングルが保有するBCAの株式(25%)を売却することが決定した[\(EX 6/25\)](#)。

9. アンゴラ南部干ばつ対策公共事業

(1) 6月24日付大統領令(93/20)により、干ばつ対策の一環として、3案件(ナミベ州ビバラ市、カムクイオ市、モサメデス市、ヴィレイ市において合計43カ所の小規模ダムを整備する)の公共事業予算と入札の実施が承認された。(当館注: 電力水省水局によれば、案件詳細については、関心企業は入札図書入手する必要がある)。

(2) 6月26日付大統領令94/20により、クネネ州における干ばつ対策公共事業の建築監査業者が入札により決定した。

10. 民営化関連

6月3日、国営企業等管理・整理機構(IGAPE)は農業関連企業12社および繊維工場3軒の公開入札の開始を発表した[\(JA 6/4\)](#)。

11. UAEとビジネスフォーラムを開催

6月11日、アンゴラとアラブ首長国連邦(UAE)は両国間で初となるビジネスフォーラムをオンラインで開催した。経済特区(ZEE)およびDubai Multi-Commodities Center(DMCC)のイニシアティブにより実現したものであり、約300名が参加した[\(VE 6/11\)](#)。

12. 雇用の大幅な減少

2020年1~3月の間に約10万8,000人が解雇された。INEによれば15歳以上の非雇用率は32%であり、約470万人が無職である。また、その内280万人が15~24歳の若者である[\(EX 6/17\)](#)。

13. 中国企業によるニオブ採掘事業

2020 年内にアンゴラ企業 Ferrangol EP 社と中国企業 Niobonga 社は、共同でウイラ州におけるニオブ採掘事業を開始する予定である。Niobonga 社は、同事業に約 1 億米ドルを投資している([FM 6/26](#))。

14. 中国企業から鉄道用車体を購入

アンゴラ政府は中国企業 CRRC 社から鉄道用車体を合計 12 億クワンザで 10 台購入した。すでに 7 台が到着済みである。4 台はルアンダ州、3 台はベンゲラ州、残り 3 台はナミベ州での運行に用いられる予定である([EX 6/4](#))。

AA: All Africa、AC: アンゴラ華人報、AN:Ango Noticias、A024:Angola 24 horas、AP: Angop、BB: Bloomberg、CK: Club-K、CRK: Correio Kianda、DN: Diario de Noticias、DV: Dinheiro Vivo、DW: Deutsche Welle、EG: E-Global、EIU: Economist Intelligence Unit、EN: Euro News、EX: Expansão、FT: Financial Times、FM: Forum Macao、JA: Jornal de Angola、JN: Jornal de Negocios、LS: Lusa、ME: Mercado、MH:Macau Hub、MR: Mining Review、NAM: Noticias ao Minuto、NJ: Novo Jornal、OBS: Observador、OP: O País、PA: Portal de Angola、RE: Reuters、VA: Ver Angola、VE: Valor Económico、VG: Vanguarda、VOA: Voice of America、XN: Xinhua Net